

マンゴー試食アンケートの結果報告

○谷村 音樹, 田浦一成, 勘米良祥多

農学部附属農場 指宿植物試験場

緒 言

指宿植物試験場では、いろいろな熱帯果樹を実習等の教材として栽培している。マンゴーについては、50品種のマンゴーを遺伝資源の標本として指宿植物試験場で栽培しており、標本とは別に栽培品種としてアーウィンとアーウィンの親にあたるリペンスを栽培している。50品種の中にはアーウィンやリペンスの他にもいくつかの優良品種があり、今後指宿植物試験場においてアーウィンやリペンス以外の品種を栽培品種に加えて行く予定である。

今回は新たに栽培品種を選定する参考にするために実習等で来た学生を対象にマンゴーの試食アンケートを行ったので、その結果を報告する。

材料と方法

2016年、試食アンケート実施当日に収穫できたマンゴー5品種を試食し、アンケート用紙に年齢・性別、それぞれの品種の甘味・酸味・風味をふまえた感想を記入し、最後に1番美味しかった順に順位を記入してもらった。今回は、農場実習Ⅱで指宿試験場実習に来た植生A(21名)・植生B(24名)の学生と、指宿植物試験場に見学に来た鹿児島県立農業大学校果樹学部1年生を対象に試食アンケートを実施し、その結果をまとめた。

アンケートの結果

・1回目試食アンケート 7月18日 植生B 男女24名 (男性12名・女性12名)

第1図は、植生Bの学生がどの品種が1番美味しく感じたかを表したグラフである。半数以上の学生がエドワードを選び、その理由として、甘味が強く酸味はほとんど感じず風味も良く濃厚な味わいという感想があった。一般的なマンゴーのアーウィンは、1番美味しく感じた人は少なかったが、甘味と風味が強くさわやか、水分を多く含んでいて1番マンゴーらしい味などの感想があった。レイト・トミーアトキンスが1番美味しく感じた学生はいなかった。

第2図は、植生Bの学生がどの品種が1番美味しく感じなかったかを表したグラフである。半数以上の学生がトミーアトキンスを選び、その理由として、クセが強いせいで後味が少し悪かった、熟れすぎたメロンのような食感がムリ、独特の風味で少し野生の感じが苦味などの感想があった。1番人気のあったエドワードが1番美味しく感じなかった学生もおり、その理由として甘いものが苦手ととても甘く濃厚、甘すぎたため低評価という感想があった。

・2回目試食アンケート 7月22日 鹿児島県立農業大学校果樹学部 男女7名 (男性6名・女性1名)

第3図と第4図が鹿児島県立農業大学校果樹学部の試食アンケートの結果である。試食対象人数が少なかったため1番美味しく感じたマンゴーはタハール以外あまり差がなかった。1番美味しく感じなかったマン

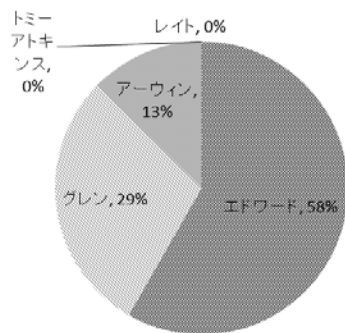
ゴーに関してはタハールを選んだ人が多く、その理由として、果皮の色は良いがややクセがある、酸味が強いなどの感想があった。

・3回目試食アンケート 7月25日 植生A 男女21名（男性15名・女性6名）

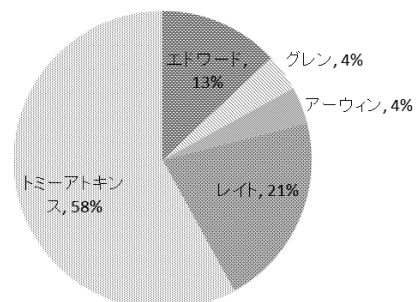
第5図は、植生Aの学生がどの品種が1番美味しく感じたかを表したグラフである。半数以上の学生がアーウィンを選び、その理由として、甘すぎることなくちょうど良くさわやか、THEマンゴーという感じなどの感想があった。

第6図は、植生Aの学生がどの品種が1番美味しく感じなかったかを表したグラフである。半数以上の学生がバンダイクを選び、その理由として、少し栗を食べた後の様な感じで少ししつこく後味が悪い感じ、繊維が多く食べにくい酸味を足せば美味しいと思う、マンゴー臭が1番強く独特な南国風な香りが強く後味が少し微妙などの感想があった。

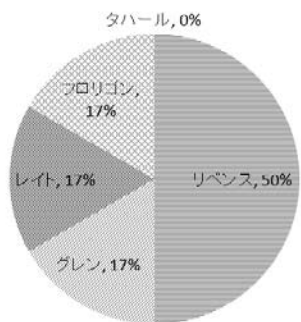
今回は試食した品種について感じたことを自由にも書いてもらうアンケート方法を取り、いろいろな感想を聞くことが出来、今後その意見を参考に品種選定をしていく予定である。まだ試食アンケートを行っていない品種もあり、今後どのような形でアンケートを行った方が良いのかの検討も含めて試食アンケートを続けて行い、得られた情報を参考に指宿試験場で栽培されているマンゴーの優良品種の選定を行う予定である。



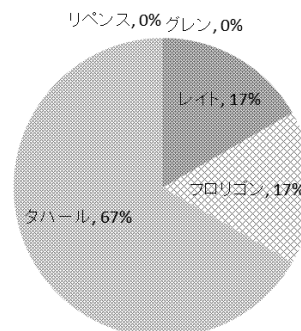
第1図 植生B 1番美味しく感じた品種



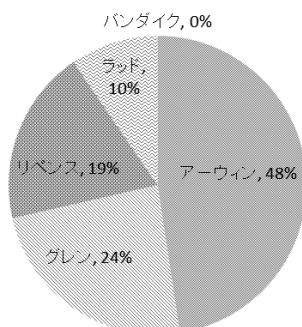
第2図 植生B 1番美味しくないと感じた品種



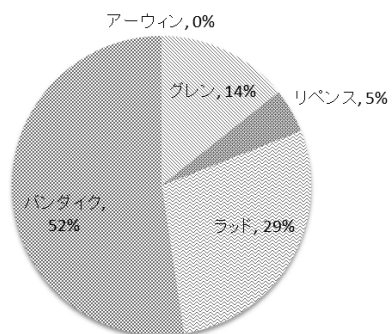
第3図 農大 1番美味しく感じた品種



第4図 農大 1番美味しくないと感じた品種



第5図 植生A 1番美味しく感じた品種



第6図 植生A 1番美味しくないと感じた品種